

# 渡島・檜山支庁の気象

平成21年12月（2009年）

函館海洋気象台

平成22年2月1日

## ◎ 気象概況

この期間の天気は周期的に変わり、晴れた日もあったが、中旬の中頃から下旬の前半にかけて強い寒気が入り雪の日が多く、下旬の後半は発達した低気圧が次々と通過したため大荒れの天気の日もあった。

月平均気温は一部を除いて平年並、月降水量は渡島地方では平年並～平年より多く、檜山地方では平年並～平年より少なく、月間日照時間は一部を除いて平年並～平年より多かった。

### 【上旬】

1日は気圧の谷の接近により、概ね曇った。2日は高気圧に覆われ、晴れた。3日は気圧の谷の中で、曇った。4日は高気圧に覆われ、晴れた。5日は発達した低気圧の接近により、曇で昼過ぎから雨が降り、七飯町大沼では12月における日最大1時間降水量の極値を更新した。6日は発達した低気圧の通過により、雨時々曇で夕方から雪も降った。7日は冬型の気圧配置となり、雪で一時曇った。8日は冬型の気圧配置が続き、曇で一時雨や雪が降った。9日は高気圧の縁辺で、概ね晴で明け方一時雨や雪が降った。10日は高気圧に覆われ、晴れた。

### 【中旬】

11日は高気圧の縁辺で、概ね晴れた。12日は低気圧の接近により、雨で夕方から曇った。13日は低気圧の通過により、概ね曇った。14日は冬型の気圧配置となり、曇で夕方から雪が降った。15日は強い冬型の気圧配置が続き、雪が降った。16～17日は冬型の気圧配置が続き、曇時々雪で太平洋側では時々晴れた。18日は冬型の気圧配置が続き、曇で時々雪が降った。19日は冬型の気圧配置が続き、曇時々雪で太平洋側では時々晴れた。20日は低気圧の接近により、雪で時々曇った。

### 【下旬】

21日は低気圧の通過により、曇時々雪で渡島東部では時々晴れた。22日は冬型の気圧配置となり、曇で時々雪が降った。23～24日は冬型の気圧配置が続き、概ね曇った。25日は高気圧に覆われ、晴れた。26日は低気圧の接近により、曇で午前中一時雪や雨が降った。27日は低気圧の通過により、曇で午前中一時雪や雨が降った。28日は発達した低気圧の接近により、曇で昼過ぎから雨や雪が降った。29日は低気圧の通過により、曇で一時雪が降った。30日は低気圧の接近により、曇で午前中一時雪や雨が降った。31日は発達しながら低気圧が通過したため、雪が降った。

**気 温**：各地点の月平均気温は $-1.7\sim 2.0^{\circ}\text{C}$ で、平年差は $-0.5\sim +0.2^{\circ}\text{C}$ 。

厚沢部町鶉で平年より低く、そのほかの観測点では平年並だった。

**降 水 量**：各地点の月降水量は $41.0\sim 194.5\text{ mm}$ で、平年比は $52\sim 173\%$ 。

八雲町八雲・木古内・福島町千軒で平年より多く、函館市川汲・北斗・函館市美原・七飯町大沼で平年よりかなり多く、せたな町瀬棚で平年より少なく、上ノ国町石崎で平年より

かなり少なく、そのほかの観測点では平年並だった。

**日照時間**：各地点の月間日照時間は 37.9～86.5 時間で、平年比は 88～137%。

函館市川汲・函館市美原で平年より少なく、八雲町八雲・北斗で平年並、せたな町瀬棚で平年よりかなり多く、そのほかの観測点では平年より多かった。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

### ◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪量	月最深積雪 (cm)
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)	月合計 (cm)	
函 館	0.1	+0.2	119.5	150	86.5	93	130	30
江 差	1.6	-0.1	103.0	104	46.6	132	74	17

(平年比・差は1971年から2000年までのデータで算出した平年値を用いて求めています。)

### ◎ 気象官署、特別地域気象観測所の極値更新表

函館、江差における 12 月の極値の更新はありません。

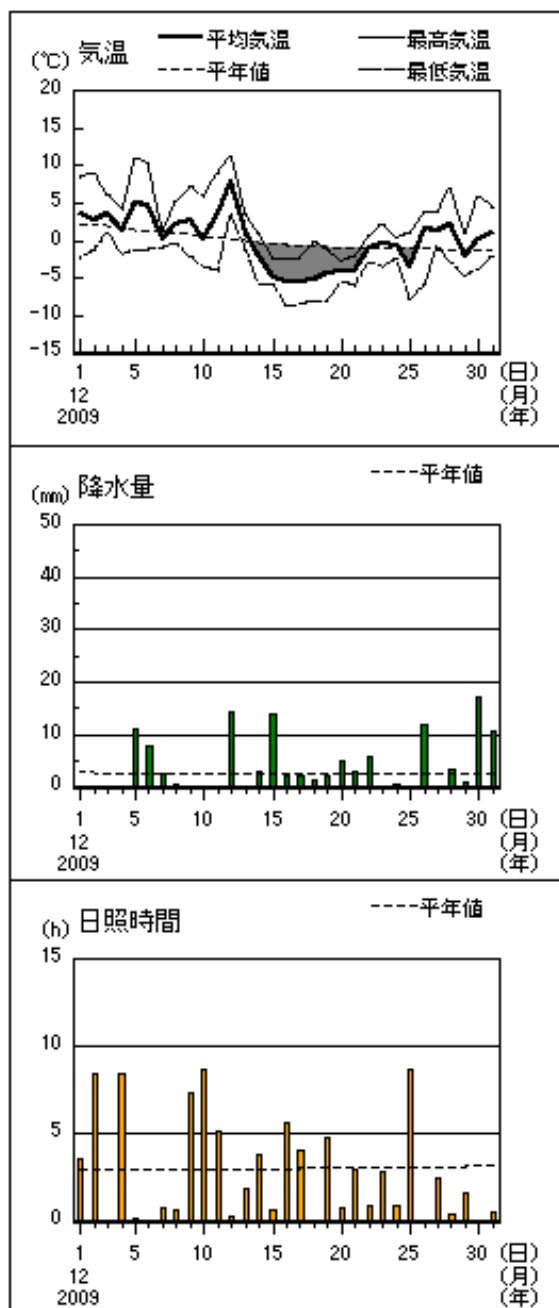
### ◎ 異常気象および気象災害発生状況

特記事項なし。

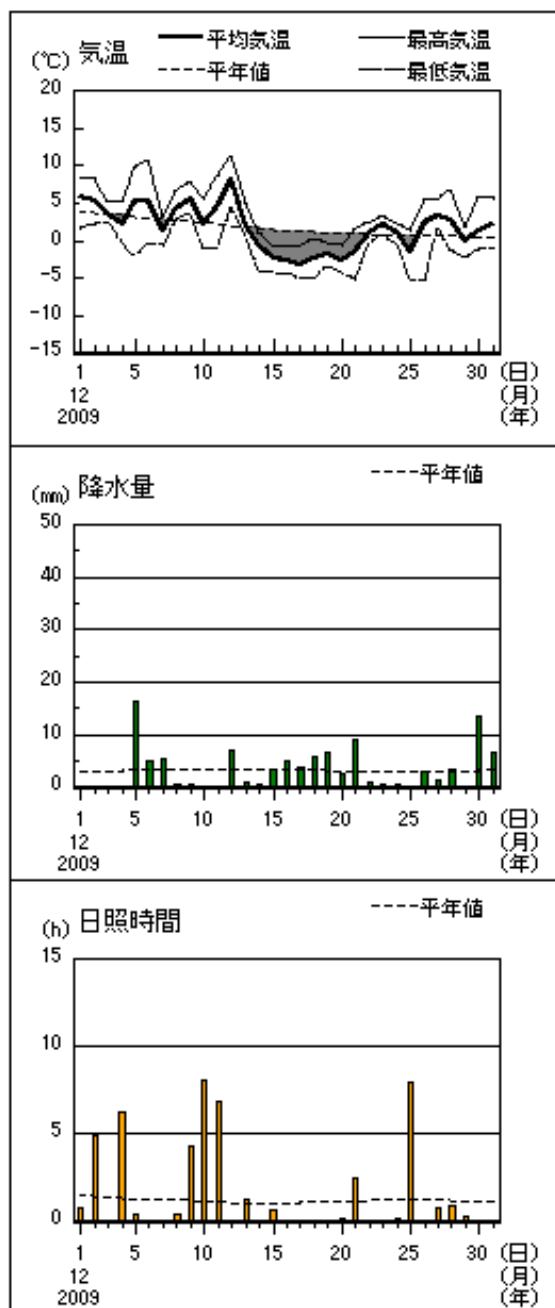
◎ 気象経過図（12月）

地上気象：2009年12月1日-2009年12月31日

函館



江差



## ◎ 気象分布図（12月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合があります。

